

2017年7月28日

### ナブテスコの温室効果ガス長期削減目標が 「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の承認を取得

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本克弘）の温室効果ガス長期削減目標が、2017年7月27日付で、国際的イニシアチブである「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」より、「パリ協定」の「2°C目標」達成に必要な脱炭素化のレベルと整合する目標として、承認されましたのでお知らせします。

「SBT イニシアチブ」は、産業革命前からの気温上昇を2°C未満に抑えるための科学と整合する温室効果ガス削減目標を推進することを目的に、CDP、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）、国連グローバルコンパクトが共同し、2015年に設立されました。国際的な注目を集め始めているイニシアチブであり、2017年7月27日現在で、世界の大手企業293社がSBTの取り組みに賛同し、そのうち、当社を含め61社（国内企業は8社）の温室効果ガス削減目標がSBTイニシアチブから承認されています。

ナブテスコグループは、マテリアリティ（重要なCSR課題）に基づく気候変動問題への取り組みとして、グループ体での温室効果ガス排出量の削減や省エネ活動を推進しています。2016年11月に地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が発効したことを受け、同年12月には、「パリ協定」に整合する「2°C目標」に向けて、2030年度と2050年度までの温室効果ガスの長期削減目標を策定しました。この長期目標の達成に向け、設備の更新や工場棟の建て替えなど積極的な設備投資を推進し、製品や事業活動に係る環境負荷の低減に取り組んでまいります。

#### <ナブテスコグループの温室効果ガス削減目標>

CO <sub>2</sub> 削減目標	2015年度 (基準年)	2020年度	2030年度 (30%減)	2050年度 (80%減)
国内排出量(t-CO <sub>2</sub> )	46,100	46,100	32,270	9,220
グローバル売上高原単位	0.239	0.217	0.167	0.048

※このうち、ナブテスコ単体排出量の長期削減目標がSBTに認定されています。

#### <関連リンク>

(ナブテスコグループ統合報告書 2016年12月期)  
<https://www.nabtesco.com/ir/library/report.html>

(SBTイニシアチブ web サイト)  
<http://sciencebasedtargets.org/>

